

究極の 耐食 耐候 密着性

亜鉛膜加熱接合法

AG-EGAL

AG easy galvanizing

特許取得の新技术 亜鉛膜で腐食部を補修 ピンポイントでがっちりガード！

亜鉛膜加熱接合工法

AG-EGAL

AG easy galvanizing

特殊加工を行った亜鉛膜を低融点合金により、補修部分に融着することで高い耐食性を発揮する補修工法です。
溶融亜鉛鍍金製品、および鋼製品の局部腐食の補修に適しています。
特に腐食の気になる部位に対してあらかじめ融着しておくことも可能です。

現場で施工可能な厚膜の亜鉛めっき。

構造物は、部分的にさらされる環境が異なることから、部位ごとに腐食速度が異なり、部分的に腐食しやすい部位が存在することがあります。
部分的な補修を行うことで構造物全体の寿命をのばすことができます。

めっき皮膜の補修には塗装などが一般的ではありますが、 腐食が著しく発生する環境では腐食がすぐに再発することがあります。

このような溶融亜鉛めっき製品の著しい腐食部分を補修するために比較的低温で溶融する合金を用い、耐食性の高い亜鉛膜を加熱接合する工法であるAG-EGAL (エージーイーガル AG easy galvanizing)を開発しました。



部分的な腐食



AG-EGALの施工例



施工部

AG-EGALの特徴

I. 緻密な耐食層

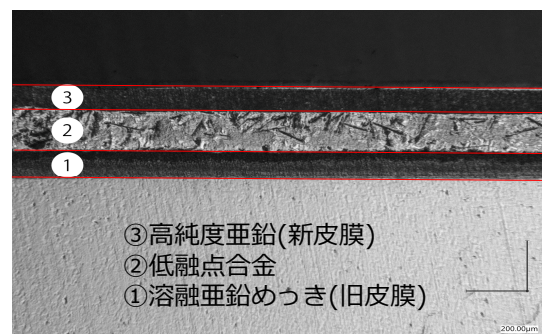
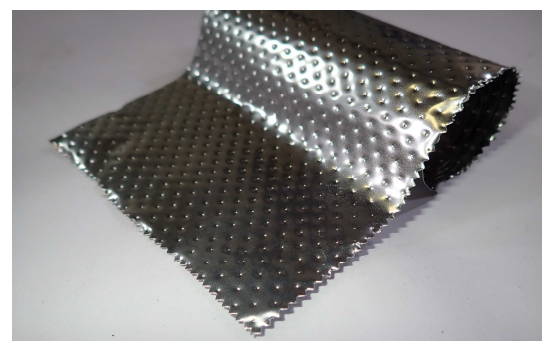
金属のみで構成された耐食皮膜は緻密な耐食層を形成しています。

II. 優れた耐候性

従来の塗装・樹脂による補修は、太陽光にさらされることで劣化することがあります。亜鉛膜加熱接合工法による皮膜は金属のみであることから、耐候性にも優れています。

III. 優れた密着性

低融点合金による融着のため、密着性に優れています。



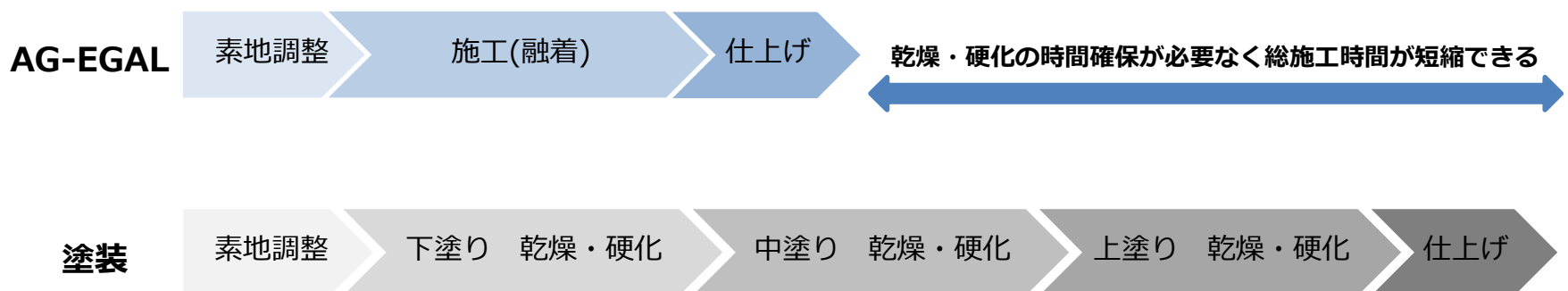
■ 特許取得技術です ■

特許番号:6814488

AG-EGALは、2019年5月17日に出願し、2020年12月23日に登録されました。特許を取得している確かな技術です。

■ AG-EGALのここが強み ■

◎ 乾燥・硬化時間が無く、施工後すぐに供用可能



◎ 全て金属で構成された緻密な耐食層が可能にした優れた耐食性

■ 加速大気暴露試験

比較的短期に自然環境に近い条件で耐食性を評価するために1年間以下の条件※1で試験を実施。1年後の結果、溶融亜鉛めっき皮膜およびジンクリッチペイントと比較して耐食性が高い結果となった。

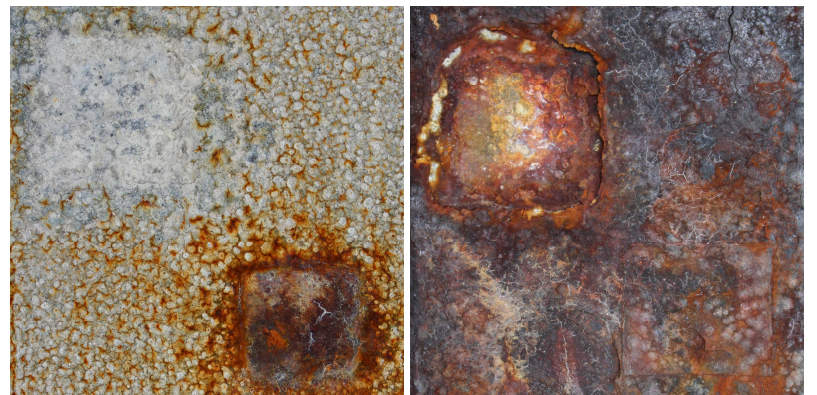
※1 試験条件

- ・ 大気暴露試験+塩水噴霧 2回/日
- ・ めっき腐食速度:約1100g/m²/年
- ・ 塩分飛来量:1400mg NaCl/(m²・d)
- ・ 宮古島海岸暴露場の約10倍の腐食環境を再現※2

※2 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 気象環境因子データと比較



溶融亜鉛めっき板の左上と右下に不めっきを作り左上にAG-EGALを施工 鋳鉄鋼板の左上にAG-EGALを施工右下にジンクリッチペイントを塗装



亜鉛めっき皮膜およびジンクリッチペイント部は腐食しているものの、AG-EGALは良好



大阪府大阪市西淀川区竹島4-11-88

表面処理事業本部 鍍金事業部

TEL: 06-6478-4464 FAX: 06-6478-0838

